平成17年主要農業機械の出荷状況調査について

1 目的

主要な農業機械の出荷台数を明らかにし、諸種の施策及び関係業界及び需要関係者等の参考に資するものです。

(従前は農林水産省生産局農産振興課技術対策室が毎年実施しておりましたが、本年度(17年の出荷台数分)は実施していません。これに対し、関係者から都道府県別の出荷台数を中心に調査の継続に対する強い要望が寄せられたことから、需要関係者等の参考に資するため実施するものです。)

2 対象機種

別紙「対象機種等」に掲げる機種について平成17年1月1日から12月31日までの出荷実績を調査します。

3 調査方式

製造又は取扱いに係る対象機種について、該当する調査票を取りまとめの上、一部を提出してください。

なお、他メーカーを経て出荷されるOEM供給販売については、重複を避けるため、販売する会社が報告をし、製造会社は自社出荷分から当該台数を除いてください。

4 報告期限 平成18年10月10日(火)

5 公表の方法

日本農業機械化協会としては、調査結果の公表はいたしません。対象機種の区分別に集計した結果につきましては、調査票を提出いただきました企業及び農林水産省にのみ報告いたします。その際、報告会社一覧表を添付します。

なお、集計が終わった機種毎に順次報告いたします。

6 個票の取扱い

各社から提出された個票を外部に公表することはありません。

7 記入上の注意

(1) 農用トラクター(乗用型)用安全キャブ・フレームについて

安全キャブ・フレームが標準装備されているトラクターについては、トラクター本体とは別に安全キャブ・フレームについても記入してください。

(2) 農用トラクター(歩行型)について

① 調査区分

駆動型	主としてロータリーによる耕うん作業に用いられるもの
けん引型	すき耕、カルチベーター等による中耕、トレーラーによる運搬などに用いられるもの
兼用型	前二つのタイプの作業に兼用するもの
管理専用機	中耕、培土、畝立て等に用いられるもの

- ② 都道府県別出荷状況調査の輸出の内訳として、完成体出荷分の台数（輸出時はノックダウン、セミノックダウン等の部品出荷形態で、現地組み立てを行う台数を除いたもの）を記入してください。
- (3) 走行式動力防除機（施設用無人防除機）について
タッチセンサー等を利用して、施設内を往復するものです。
- (4) 動力刈取機（刈払型）について
芝用の刈取機は含まないでください。
- (5) コンバイン（普通型）について
大豆等の専用コンバインも含めてください。
- (6) ポテトハーベスターについて
自走式のものについても記入し、甘しょ用のものも含めてください。
- (7) 細断型ロールベラーについて
微細断されたコーンや牧草等を荷受けし、ロール成形するものです。カッティングロールベラーについては、従来どおり、ヘイベラー（ロール）の方に記入して下さい。
- (8) 野菜移植機について
野菜移植機欄の全自動又は半自動は、苗供給方式により区分してください。
- (9) 野菜収穫機について
ばれいしょ、甘しょ用はポテトハーベスターとして整理してください。

※ 本調査についての問合せは、下記担当までお願いします。

日本農業機械化協会	宮永豊司
〒104-0033	東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館6階
TEL	03-3297-5640
FAX	03-3297-5639
E-mail	miyanaga@nitinoki.or.jp

- ※ この調査に該当する農業機械がない場合は、お手数ですがその旨を担当までご連絡ください。
- ※ 調査はメールでの回答でも結構です。なお、調査表はエクセルで作成しておりますので必要であれば当協会ホームページ (<http://nitinoki.or.jp/>) からダウンロードしてください。